

世界に誇る岐阜の遺産をめぐる旅
 楽天トラベル <https://r10.to/gifuisan>



自然と暮らしが共存する日本の原風景

白川郷合掌造り集落

「人類の歴史上重要な時代を例証するある形式の建造物、建築物群の技術の集積、または景観の顕著な例」として1995年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。当時の人々の暮らしが今なお息づく集落は、四季折々にその趣きを変え、訪れる人を魅了します。



MAP D

白川村

周辺の
宿情報は
こちら



めぐる旅 世界遺産を



2016年12月、全国33の行事がユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録されました。岐阜県には、そのうちの3つ「高山祭」「古川祭」「大垣祭」があり、いずれも春に開催されます。（高山祭は秋にも開催）
そのほか、岐阜県は「白川郷合掌造り集落」「本美濃紙」など、世界に誇る遺産が多数。伝統、文化でも高い評価を受けている魅力溢れる岐阜県の遺産をめぐる旅へ、どうぞお出かけください。



豪華絢爛な屋台が街を彩る

高山祭の屋台行事

春と秋に開催される高山祭は、日本三大美祭のひとつ。屋台の起源は1718年頃といわれ、からくり人形や仕掛けが施された戻し車など、匠の技が細部まで生かされています。春には12台、秋には11台の祭り屋台が曳き揃えられ、高山市内をきらびやかに彩ります。

春の高山祭
4月
14・15日

秋の高山祭
10月
9・10日

MAP A

高山市

周辺の
宿情報は
こちら



迫力と熱気に満ちる時代絵巻

古川祭の起し太鼓・屋台行事

古川祭は気多若宮神社の例祭で、神社本殿での「御神興行列」、動の「起し太鼓」と静の「屋台行列」で構成されています。見どころは何と言ってもユネスコ無形文化遺産に登録された「起し太鼓」。太太鼓と付け太鼓集団との深夜まで続く攻防は圧巻です。

MAP B

飛騨市

周辺の
宿情報は
こちら



4月
19・20日



5月
中旬

文化交流の歴史を感じて

大垣祭の軸行事

大垣藩主下賜（かし）の軸と町衆の軸が併存する、全国でも珍しい祭。日本の中央に位置する美濃地方という特性から、屋台のからくり人形には中京圏の山車行事、軸上の芸能には近畿圏の山車行事の影響が色濃く、東西の祭礼文化の交渉がうかがえるなど、文化変遷の史料としても貴重な行事です。

MAP C

大垣市

周辺の
宿情報は
こちら



歴史と文化に触れながら
美しい風景を堪能する

1300年以上の歴史に 磨かれてきた本物 本美濃紙

「日本の手漉和紙技術」のひとつとして2014年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。美濃和紙製品のうち、本美濃紙の厳格な条件を満たしたものは1割ほど。光を美しく見せることを追求し、技術の結集がたどり着いた混じりけのない白、柔らかさが特長です。

MAP E

美濃市

周辺の
宿情報は
こちら



「命のビザ」の記録

杉原リスト

正式名称は「杉原リストー1940年、杉原千畝が避難民救済のため人道主義・博愛精神に基づき大量発給した日本通過ビザ発給の記録」。2000人以上の名前が書かれたビザ発給リストを含む全20点で構成されています。杉原千畝の故郷・八百津町にある記念館には、ビザ発給を決断した当時の執務室が再現されています。



MAP G

八百津町

周辺の
宿情報は
こちら



MAP H

美濃市・関市

周辺の
宿情報は
こちら



人の力で切り拓いた水路

曾代用水

建設から100年以上経過し、歴史的・技術的価値のあるかんがい施設として、世界かんがい施設遺産に登録された曾代用水。3人の民間人が私財をなげうち、1663年から約10年をかけて人力で約17キロもの用水を構築しました。今なお関市と美濃市の農地を潤しています。



世界
農業遺産



県民の暮らしに
息づく「里川」

清流長良川の鮎

「名水100選」に選ばれ岐阜県の象徴とも言える長良川。その清流で鮎が育ち、清流と鮎は地域の経済や歴史文化と深く結びついています。人の生活、水環境、漁業資源が相互に関係する「里川」のシステムが高い評価を受け、2015年に世界農業遺産に登録されました。

MAP F

岐阜市ほか

周辺の
宿情報は
こちら

